

下北半島・六ヶ所村

そこで何が始まり、何が起こっているのか、  
誰も知らない。

# 田 神 有 楽

DEN SHIN YUUGAKU



企画・制作 東風舎 望月 良衛／監督 加藤 鉄／撮影 山田 達也 柳田 義和／整音 田辺 信道 協映スタジオ  
編集 福田千賀子／音楽 インドラ グルン バンブーフロムアジア／協力 高田 稔  
配給 ふゅーじょんぷるだくとラピュタ阿佐ヶ谷  
2002／カラー／113分／16mm／スタンダード

青森県・下北半島・六ヶ所村  
 そこは日本各地の原発から出る  
 核廃棄物の貯蔵基地として  
 世界でも最大規模の  
 施設の建設が進められている  
 その開発用地内に  
 ただ一戸  
 稲作りをつづける一家がいる  
 これは  
 土と沼と海に生きる人々の心と願いを  
 ゆるやかな時の流れの中に見つめた  
 静かなる闘いの記録  
 そして  
 ただ一度の人生を賭けて  
 田を 森を守り通した男の  
 魂の物語

# 田 神 有 楽

でんしんゆうがく

り(庵)田の神になる

ナ(お前)沼の神になれ



素魂(すだましい)という言葉  
 があれば、まさにそれを六ヶ所村  
 の大地と風と人間たちにさらして、  
 そこにいることを許されているよ  
 うな、そういう映画である。  
 田中千世子(映画評論家)

かつてあった村の生活を、小泉  
 さんはひとりでももっている。そ  
 のシンプルな暮らしの映像は神々  
 しい。  
 鎌田 慧(ルポライター)

東北のこの地には「腹に魂を入れる」という言葉がある。風土にまみれて見えにくい人々の腹の内の魂を感じ  
 とりたいという願いから、この作品は生まれた。

村人たちの穏やかな笑顔の下に隠された苦しみや悲しみや怒り。この作品はそういった重々しい場面だけで  
 なく、温かな感情に満ちた慎ましやかなシーンを徐々にとらえていく。くり返す季節を確かに生活していくこ  
 との、ささやかではあるけれど豊かな喜び、その静かな力強さがこの映画を観る者の共感を呼ぶだろう。なお、  
 監督の加藤鉄は『ただひとたびの人』(93)でトリノ国際映画祭審査員特別賞を受賞している。

企画・制作 東風舎 望月 良衛/監督 加藤 鉄/撮影 山田 達也 柳田 義和/整音 田辺 信道 協映スタジオ  
 編集 福田千賀子/音楽 インドラ グルン バンブーフロムアジア/協力 高田 稔  
 配給 ふいゅーじょんぷるだくと/ラピュタ阿佐谷  
 2002/カラー/113分/16mm/スタンダード

7月26日(土)より下北半島六ヶ所村、心のロードショー

[モーニング&イブニング上映]

7月26日(土)~8月8日(金) 2週間 AM10:30~(朝1回上映)

8月9日(土)~8月15日(金) 1週間 PM 7:10~(夜1回上映)

特別鑑賞券 1,200円好評発売中

(チケットぴあ、劇場窓口他に)

当日: 一般1,500円 / 大学生1,200円 / 高・中・小・シニア1,000円 (税込)



http://www.nanagei.com/ 電話 06-6302-2073

阪急・十三駅西口より徒歩3分 サンポートシティ6F  
 大阪市淀川区十三本町1-7-27